

令和4年度

山形県社会教育 2022
(案)

山形県教育委員会

目次

| | | |
|----------------|---|-----------------------------------|
| I | 令和4年度 社会教育の推進・生涯学習の振興 | 1 |
| II | 令和4年度 社会教育・生涯学習 施策体系 | 2 |
| III | 令和4年度 県社会教育関係事業 年間計画 | 3 |
| IV | 令和4年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画 | 5 |
| | 1 豊かな心と健やかな体を育成する | |
| | (1) 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進 | |
| | (2) 豊かな心の育成 | |
| | 2 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する | |
| | (1) グローバル化等に対応する実践的な力の育成 | |
| | 3 郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する | |
| | (1) 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進 | |
| | (2) 山形の宝の保存活用・継承 | |
| | 4 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める | |
| | (1) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進 | |
| | (2) 青少年の地域力の育成・地域活動の促進 | |
| | (3) 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実 | |
| V | 令和3年度 県社会教育施設関係事業 | |
| | (1) 山形県立図書館 | |
| | (2) 山形県青年の家 | |
| | (3) 山形県朝日少年自然の家 | |
| | (4) 山形県金峰少年自然の家(本館) 海浜自然の家(分館) | |
| | (5) 山形県飯豊少年自然の家 | |
| | (6) 山形県神室少年自然の家 | |
| | (7) 山形県生涯学習センター | |
| | (8) 山形県立博物館 | |
| VI | 令和3年度 山形県社会教育委員名簿 | |
| VII | 統計資料等 | |
| | (1) 山形県社会教育関係団体一覧 | (2) 青少年教育施設一覧 |
| | (3) 山形県内図書館一覧 | (4) 山形県内博物館一覧 |
| | (5) 各市町村社会教育主管課一覧 | (6) 社会教育委員等設置状況 |
| | (7) 社会教育関係団体等の状況 | (8) 社会教育施設等の状況 |
| | (9) 生涯学習推進・学社連携組織等一覧 | (10) 文部科学大臣表彰一覧(過去5ヵ年) |

I 令和4年度 社会教育の推進・生涯学習の振興

第6次山形県教育振興計画

基本目標

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

テーマ

つなぐ
～いのち、学び、地域～

基本方針

- I 「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進する
- II 豊かな心と健やかな体を育成する
- III 社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する
- IV 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する
- V 特別なニーズに対応した教育を推進する
- VI 魅力にあふれ、安心・元気な学校づくりを推進する
- VII 郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する
- VIII 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める
- IX 地域に活力を与える文化とスポーツを推進する

第5次山形県生涯学習振興計画

目標

一人ひとりの個性が奏であい
輝く山形の未来を拓く生涯学習
～自立、協働、創造～

生涯学習振興の重点

- 1 個人や地域の多様化するニーズを踏まえた
学習機会・学習内容の充実
- 2 地域づくり・絆づくりに係る活動の推進
- 3 持続可能な推進体制整備、人材育成機会の
提供等による市町村への支援

令和4年度の社会教育の推進・生涯学習の振興にあたっては、第6次山形県教育振興計画後期計画及び第5次山形県生涯学習振興計画に基づき施策を展開します。

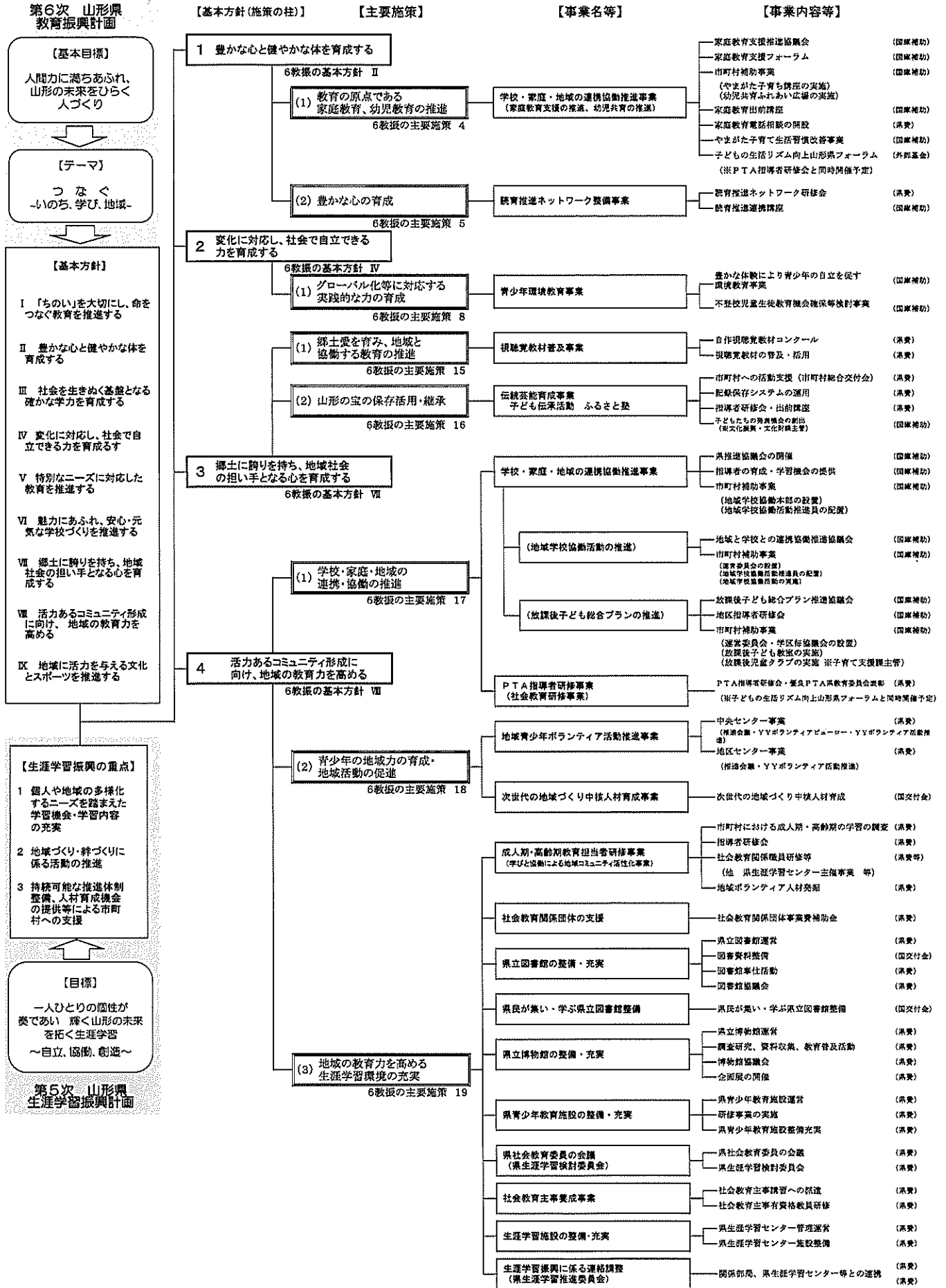
また、「つなぐ ～いのち、学び、地域～」のテーマに沿って社会教育の施策を推進していくとともに、「自立、協働、創造」の観点に沿って生涯学習の振興を図ります。

策定されて5年目となる第5次山形県生涯学習振興計画の普及と啓発に引き続き取り組み、目標である「一人ひとりの個性が奏であい、輝く山形の未来を拓く生涯学習」の実現に向け、生涯学習振興の中核となる社会教育の更なる充実に努めます。

【6教振の基本方針における生涯学習の施策の柱】

- 1 **豊かな心と健やかな体を育成する【基本方針II】**
 - ・保護者の学習機会の創出により、親の不安や悩みを軽減し、より温かい親子関係の構築につながる家庭教育を推進します。（主要施策4）
 - ・豊かな感性や人間味あふれる心、思いやりの心を育むために、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進します。（主要施策5）
- 2 **変化に対応し、社会で自立できる力を育成する【基本方針IV】**
 - ・不登校等、社会参加に困難を有する子ども・若者やその家族について、関係部局やNPO団体、フリースクール等の様々な機関や団体と連携・協働して、将来の社会的自立を目指した支援のあり方について検討し、支援を行います。（主要施策8）
- 3 **郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する【基本方針VII】**
 - ・本県の自然や歴史、偉人・先人の業績、伝統文化・文化財、経済産業などに触れることができる地域教材や資料を集約し、情報発信する等、一層の活用を促進します。（主要施策15）
 - ・地域社会全体で郷土の伝統や文化への関心を高め、文化財・伝統文化の総合的な保存活用・継承の取組みを促進します。（主要施策16）
- 4 **活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める【基本方針VIII】**
 - ・学校を支援する活動や地域の教育力を高める活動等を一体的・総合的に推進する仕組みを構築します。（主要施策17）
 - ・活力あるコミュニティ形成に向けて、児童や生徒、青年によるボランティア活動等の地域活動の推進や地域活動に取り組む青年リーダーの育成を推進します。（主要施策18）
 - ・地域の教育力を高めるとともに、地域コミュニティの活性化に向けて、知の拠点としての県立図書館をはじめとする社会教育関連施設の機能を充実するとともに、地域の活動の支えとなる中核的人材の育成のための支援を行います。（主要施策19）

II 令和4年度 社会教育・生涯学習 施策体系



Ⅲ 令和4年度 県社会教育関係事業 年間計画(220202案) 青=青少年教育施設の種類等

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
|----|----|----|-----------------------|---|----|---------------------|---|
| 1 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | 山形県社会教育委員会 164回 |
| 2 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 | 金 | |
| 3 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 | ボランティア福祉セミナー(前期) 朝日わくわく広場④(朝日) わんぱく探検隊～夏～(特設) |
| 4 | 月 | 水 | 土 | 月 | 木 | 日 | ボランティア福祉セミナー(前期) 朝日わくわく広場④(朝日) わんぱく探検隊～夏～(特設) |
| 5 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 | 月 | |
| 6 | 水 | 金 | 月 | 水 | 土 | 火 | 保護子ども総合プラン推進協議会 |
| 7 | 木 | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 | |
| 8 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | 博物館ナイトミュージアム |
| 9 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 | 金 | 教育事務所社会教育主事等会議② |
| 10 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 | |
| 11 | 月 | 水 | 土 | 月 | 木 | 日 | 山の日 |
| 12 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 | 月 | |
| 13 | 水 | 金 | 月 | 水 | 土 | 火 | |
| 14 | 木 | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 | |
| 15 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | |
| 16 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 | 金 | |
| 17 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 | 再興まちづくり推進フォーラム(前期) 家族でチャレンジ!(特設) |
| 18 | 月 | 水 | 土 | 月 | 木 | 日 | |
| 19 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 | 月 | 敬老の日 |
| 20 | 水 | 金 | 月 | 水 | 土 | 火 | |
| 21 | 木 | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 | |
| 22 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | |
| 23 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 | 金 | |
| 24 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 | 朝日わくわく広場⑤(朝日) はしめてのフェスタ!(前期) わんぱく探検隊～秋～(特設) |
| 25 | 月 | 水 | 土 | 月 | 木 | 日 | 朝日わくわく広場⑤-2(朝日) 防災第5期指導員養成講座(前期) 夜空を見上げよう(特設) |
| 26 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 | 月 | |
| 27 | 水 | 金 | 月 | 水 | 土 | 火 | |
| 28 | 木 | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 | |
| 29 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | |
| 30 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 | 金 | |
| 31 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 | |
| | | | 東北次社教主事講習 (29～30日) | ボランティア福祉セミナー(前期) 東北次社教主事講習 (1日～) 青少年の自立を促す環境教育 事業 | | 東北次社教主事講習 (～12日) | |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|----|---|---|--|---|---|----------------------------------|----|
| 1 | 土 わんぱく自然塾の冬（海浜） | 火 | 木 | 日 休日 | 水 | 水 | 1 |
| 2 | 日 自然塾でお願いだ！（絵巻） | 水 | 金 | 月 振替休日 | 木 | 木 | 2 |
| 3 | 月 | 木 文化の日 博物館無料開館日 | 土 | 火 | 金 | 金 | 3 |
| 4 | 火 | 金 国社研社会教育主宰専門講座 | 日 | 水 | 土 朝日わくわく広場会（朝日） わんぱく自然塾冬の宴（金沢） （10時～12時） （12時～15時） （15時～18時） | 土 朝日わくわく広場会（朝日） | 4 |
| 5 | 水 | 土 | 月 | 木 | 日 ↓ | 日 博物館冬の夜はくわくわくショウケース（15時～18時） | 5 |
| 6 | 木 | 日 いいでクラブ（絵巻） | 火 | 金 | 月 | 月 | 6 |
| 7 | 金 | 月 | 水 | 土 | 火 | 火 | 7 |
| 8 | 土 | 火 | 木 | 日 | 水 | 水 | 8 |
| 9 | 日 | 水 | 金 | 月 成人の日 | 木 | 木 | 9 |
| 10 | 月 スポーツの日 | 木 | 土 地域をつくるリーダーセミナー（内陸）（絵巻） 朝日わくわく広場会（朝日） KINBOWふたフェスタ（金沢） （10時～12時） （12時～15時） | 火 博物館無料開館日 | 金 教育事務所社会教育主宰等会議 成人期・高齢期教育研修会 | 金 | 10 |
| 11 | 火 | 金 青少年教育推進協議会（絵巻） | 日 | 水 | 土 建国記念の日 | 土 | 11 |
| 12 | 水 | 土 国社研交流研修会2（絵巻） 子ども会（山） なまこPTA指導者研修会 | 月 | 木 | 日 | 日 | 12 |
| 13 | 木 東北地区社会教育研究大会 会期、東北公民館研究発表も予定 | 日 やまがた教育の日 教育資料館無料開館日 | 火 | 金 | 月 | 月 | 13 |
| 14 | 金 ↓ | 月 | 水 | 土 地域をつくるリーダーセミナー（内陸）（絵巻） 朝日わくわく広場会（朝日） スノーランドフェスティバル（絵巻） | 火 | 火 | 14 |
| 15 | 土 KANBONおまフェスタ（海浜） 最上の山探訪（神楽） | 火 | 木 | 日 | 水 | 水 | 15 |
| 16 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | 木 | 16 |
| 17 | 月 | 木 | 土 地域をつくるリーダーセミナー（内陸）（絵巻） いいでクラブ3（絵巻） | 火 | 金 | 金 | 17 |
| 18 | 火 青少年教育推進協議会・教育推進協議会 | 金 | 日 | 水 | 土 国社研教育推進協議会 スノーランドフェスティバル（絵巻） | 土 いいでフレキャンプ（絵巻） | 18 |
| 19 | 水 若者自立支援体験活動2（絵巻） | 土 アサクラの会（絵巻） | 月 | 木 | 日 国社研教育推進協議会 スノーランドフェスティバル（絵巻） | 日 | 19 |
| 20 | 木 不登校自立支援サポートワークショップ（絵巻） | 日 アサクラの会（絵巻） | 火 | 金 | 月 | 月 | 20 |
| 21 | 金 若者自立支援体験活動1（絵巻） | 月 | 水 | 土 KANBOWおまフェスタ（金沢） わんぱく探検隊～冬～（絵巻） | 火 | 火 春分の日 | 21 |
| 22 | 土 朝日わくわく広場会（朝日） エンジョイ金華山登山会（絵巻） （10時～12時） （12時～15時） | 日 不登校自立支援NW協議会会議 動物広場の日 | 月 | 日 ↓ | 水 | 水 | 22 |
| 23 | 日 ↓ | 火 | 金 | 月 | 木 天保誕生日 | 木 | 23 |
| 24 | 月 | 木 | 土 | 火 社会教育主宰等研修会（2/21） | 金 | 金 | 24 |
| 25 | 火 | 金 | 日 | 水 国社研教育推進協議会 国社研 | 土 | 土 | 25 |
| 26 | 水 R3全国社会教育研究大会（広域） | 土 | 月 | 木 | 日 国社研フェスティバル（絵巻） | 日 | 26 |
| 27 | 木 | 日 神楽1デーダンス2（神楽） | 火 | 金 教育事務所社会教育主宰等会議 | 月 | 月 | 27 |
| 28 | 金 ↓ | 月 やまがた自然文化フェスタ（絵） （遊学館） | 水 | 土 ボランティアの集い（絵巻） | 火 | 火 | 28 |
| 29 | 土 神楽フェスティバル1（神楽） | 月 | 木 | 日 | | 水 | 29 |
| 30 | 日 神楽フェスティバル2（神楽） 東北文化の日 博物館無料開館日 | 月 | 金 | 月 | | 木 | 30 |
| 31 | 月 東北文化の日 博物館無料開館日 | 土 | 土 | 火 | | 金 | 31 |
| | スズメイ自然塾子ども自然塾の 研究会 | ふらっと自然塾コンパニ オン研究会（内P連主催） | | | | | |

IV 令和4年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画

1 豊かな心と健やかな体を育成する

(1) 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進

家庭教育は教育の原点であり、すべての教育の出発点である。しかし、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、子育てに不安や悩みを持つ親が増え、家庭の教育力の低下が指摘されている。こうした今日的な家庭教育の課題に対応し、子どもたちが生涯にわたる人格生成の基礎を培っていけるよう、社会全体で家庭教育を支えていくことが必要である。

令和4年度は、相談機会を拡充する事業に重点を置いて取り組む。電話相談に加え、地域活動団体が家庭教育や子育ての相談受付ができるように活動事例の普及や活動を支えるネットワークづくりを進める。また、様々な環境にある保護者が家庭教育に関する情報を得られるよう SNS 等様々な媒体を使って情報提供を行う。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|---|--|---|
| 学校・家庭・地域の 連携協働推進事業 (家庭教育支援の推進) ◇H11年度開始 H16年度組替 H22年度事業統合 H28年度事業統合 ○○千円 (国補助、県費) | <p>●目的 家庭の教育力及び地域の教育機能向上のために、保護者等を対象に家庭教育に関する学習機会や相談機会を提供するとともに、家庭教育支援者の資質向上のための研修会を実施するなど、家庭教育支援の充実を図る。</p> <p>●内容</p> <p>1 県家庭教育支援推進協議会 ○対象 推進委員(11名程度) ○期日・場所 年間1回開催 8月30日(火)【変更有】 ○主な活動 県の方針や推進施策の計画・検証</p> <p>2 家庭教育支援フォーラム ○期日・場所 県内4地区 ○主な活動 家庭教育支援者の資質向上とネットワーク構築を図る研修等</p> <p>※家庭教育支援フォーラムの場でネットワークづくりを行い、地域活動団体が活動時に相談受付を行うことをサポートできるようにする。 ※地域で相談受付などの家庭教育支援にかかわる活動をしている団体の事例を紹介し、普及を図る。</p> <p>3 やまがた子育て講座【市町村補助事業】 ○対象 学校等保護者、PTA関係者 他 ○期日・場所 31市町村186箇所予定(R4所要額調査) ○主な活動 家庭教育に関する講話や座談会 等</p> <p>4 家庭教育出前講座 ○対象 子育てに関わる関係者等 ○期日・場所 県内8箇所 ○主な活動 家庭教育に関する講演や情報提供 等</p> <p>5 家庭教育電話相談の開設 ○主な活動 「ふれあいほっとライン」継続実施 ①年間を通じて相談を受付 ②相談員による相談受付：月～金 9:00～16:15 ※祝日等は除く ③電話(含留守番電話)、FAX、メールにて受付</p> | 生涯教育・学習振興課 教育事務所 市町村 教育事務所 生涯教育・学習振興課 |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>6 やまがた子育て生活習慣改善事業 ○実施機会 家庭教育に関する講座や就学時健診時等 ○主な活動 ①家庭教育に関する保護者向けの啓発 ②保護者向け学習資料リーフレットの活用 ③県家庭教育アドバイザーの委嘱及び資質向上を図る 研修 4月15日(金)</p> <p>7 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム (県PTA指導者研修会と同時開催・やまがた教育の日) ○対象 学校PTA関係者、保護者 他 ○期日・場所 11月12日(土)・遊学館(予定) ○主な活動 「令和4年度会津・山形『体験の風をおこそう』運動」 を活用する予定。</p> | 生涯教育・学習振興課 生涯教育・学習振興課 |
| <p>学校・家庭・地域の連携協働推進事業 (幼児共育の推進)</p> <p>◇H17年度開始 H22年度事業統合 H28年度事業統合</p> | <p>●目的 「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して、幼児期の子どもを育む『幼児共育』の実践的な活動を推進する。</p> <p>●内容 1 幼児共育ふれあい広場【市町村補助事業】 ○対象 幼稚園・保育所等保護者 他 ○期日・場所 30市町村152箇所予定(R4所要額調査) ○主な活動 人やモノ、自然とのかかわりを通して親子のふれあいを大切にしたい様々な体験活動 等</p> | 市町村 |

(2) 豊かな心の育成

本県では、「第3次山形県子ども読書活動推進計画」に基づき、学校・家庭・地域などが連携し、社会全体で子どもの読書活動に取り組む『読育(どくいく)』を推進している。さらに、子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、親自身が日頃から家庭での読書を心がけるとともに、乳幼児期からの読み聞かせの必要性や効果的な取組み、発達段階に応じた読書の在り方などについて理解を深めることが必要である。こうした考えを踏まえ、令和4年度も引き続き以下の事業を推進する。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|---|--|--|
| <p>読育推進ネットワーク整備事業</p> <p>◇H26年度開始</p> <p>〇〇千円 (国補助、県費)</p> | <p>●目的 子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育てるために、乳幼児期からの絵本の読み聞かせの普及・啓発を図り、家庭における「読育(どくいく)」を推進する。</p> <p>●内容 1 読育推進ネットワーク研修会 ○期日・場所 県内4地区 ○主な活動 ①乳幼児健診等における絵本の読み聞かせの普及・啓発 ②親子が絵本に親しむ機会を充実させる取組み</p> <p>2 読育推進連携講座 ○対象 読み聞かせボランティア 他 ○期日・場所 県内4地区 ○主な活動 ①自然体験等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座の提供 ②読み聞かせボランティアサークルや市町村との連携による企画、運営</p> | 教育事務所 教育事務所 |

2 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する

(1) グローバル化等に対応する実践的な力の育成

近年、コミュニケーション力の向上や自立した生活を送ることに支援が必要な青少年の増加という新たな課題が生じている。このような青少年を対象とした体験活動の充実により、社会参加への意欲を育み他者とかわる力の向上を図る。

また、平成28年12月の「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（教育機会確保法）」の制定により、フリースクール等の民間支援団体等における学校以外の場での活動の重要性が示された。これを受け、本県でも令和2年度より不登校児童生徒教育機会確保等検討事業を立ち上げた。令和4年度はより具体的な連携体制の構築を推進していく。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|--|--|--------------------------------|
| <p>青少年環境教育事業</p> <p>（豊かな体験による青少年の自立を促す環境教育事業・県内若者相談支援拠点職員のための体験活動研修事業）</p> <p>◇H27年度開始</p> <p>（外部基金）</p> | <p>●目的</p> <p>継続的な就労・就学に向けて支援を必要とする青少年を対象とした、海洋ごみ回収ボランティアや仲間との自然体験活動を通して、コミュニケーション能力や自尊感情の向上を図り、自立した生活を送るための土台を築く。</p> <p>県内各施設の支援者を対象として青少年教育施設を活用した体験活動と支援実践の研修を通して支援力の向上を図るとともに、ネットワークを築く。</p> <p>●内容</p> <p>1 心と海岸リフレッシュツアー</p> <p>○対象 若者相談支援拠点施設等に通う中学生・高校生、20代～30代の青年及びその指導者、教育支援センターや通信制高校に通う生徒</p> <p>○期日・場所 7月下旬・金峰少年自然の家</p> <p>○主な活動</p> <p>①海洋ごみ回収活動を通じた環境教育の実施</p> <p>②コミュニケーション能力や自尊感情の向上を促す自然体験活動</p> <p>③複数の若者相談支援拠点施設職員の実行委員組織による計画・立案・運営</p> <p>④相談支援拠点施設職員の情報交換及び事例研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体験 ・海洋ごみ回収ボランティア体験 ・野外生活体験 ・海洋ごみ問題学習 ・いかだづくり体験 ・キャンプファイヤー ・野外炊飯 | <p>生涯教育・学習振興課</p> |
| <p>（不登校児童生徒教育機会確保等検討事業）</p> <p>◇R2年度開始</p> <p>〇〇千円</p> <p>（国補助、県費）</p> | <p>●目的</p> <p>不登校児童生徒を支援する学校、教育支援センター、フリースクール等民間支援団体等によるネットワーク構築を推進し、不登校児童生徒の社会的な自立をめざした教育相談体制の整備充実を図る。</p> <p>●内容</p> <p>1 不登校児童生徒が通うフリースクールなど民間支援団体と在籍する学校との連携状況調査</p> <p>○対象 小中学校</p> <p>○期日・場所 6月</p> <p>○主な活動 学校定期調査として実施、集約する。</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> <p>義務教育課</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>2 不登校児童生徒の自立支援ネットワーク構築推進会議</p> <p>○出席者 民間支援団体支援者、有識者、市町村教育支援センター指導者等で構成する検討委員</p> <p>○期日・場所 11月22日(火)・県庁内</p> <p>○主な活動 民間支援団体と教育支援センターや学校とのよりよい連携や支援の在り方について情報を共有し推進する。</p> <p>3 地区ネットワーク会議(置賜地区のモデル開催)</p> <p>○出席者 市町村教委担当者、民間支援団体支援者、教育事務所指導課、義務教育課</p> <p>○期日・場所 2回開催・教育事務所(予定) (R4は置賜地区をモデル地区とし開催)</p> <p>○主な活動 地区における民間支援団体と市町村教委との顔の見える連携体制の推進及び支援者の資質の向上を図る。</p> <p>4 不登校児童生徒の自立支援ネットワーク研修会</p> <p>○対象 民間支援団体支援者、市町村教育支援センター指導者、市町村教委職員、小中高等学校教員等</p> <p>○期日・場所 10月20日(木) 県庁会議室</p> <p>○主な活動 民間支援団体や教育支援センター、SSW、SC等と学校との連携支援の話題提供によるシンポジウム及び情報交換会を開催し研修を深め、地域の支援団体と教育支援センター、教員と関係構築のきっかけとする。</p> | <p>義務教育課 教育事務所指導課</p> <p>生涯教育・学習振興課 義務教育課</p> |
|--|---|---|

3 郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成する

(1) 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進

子どもから成人に至るまで利用できる自作の視聴覚教材の制作を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教育活動を推進することにより、郷土を愛し、地域とつながる心を持つ人材を育成していく。

令和4年度も引き続き自作視聴覚教材コンクールを実施し、優秀作品はインターネットサイト「ふるさと塾アーカイブス」に掲載し、普及を図る。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|--|--|-------------------|
| <p>視聴覚教材普及事業</p> <p>◇H21年度開始 〇〇千円 (県費)</p> | <p>●目的 自作の視聴覚教材制作を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教材提供を可能にすることにより、郷土に誇りを持ち地域とつながる心を持つ人材を育成する。</p> <p>●内容</p> <p>1 第71回 県自作視聴覚教材コンクール</p> <p>○対象 視聴覚教材を自作している団体・個人</p> <p>○期日・場所 表彰式・発表会2月18日(土)・遊学館</p> <p>○主な内容 審査及び表彰・発表</p> <p>2 自作視聴覚教材の活用・普及</p> <p>○対象 県自作視聴覚教材コンクール、全国自作視聴覚教材コンクールで優秀な成績を収めた作品</p> <p>○主な活動 ふるさと塾アーカイブスへの掲載及び周知</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> |

(2) 山形の宝の保存活用・継承

本県では、地域の民俗芸能等の伝統文化「山形の宝」を子どもたちへ伝承する団体を「ふるさと塾賛同団体」として登録を推進しており、地域の祭りや行事などへ参加する小中学生の割合が高く、地域とのつながりが全国的にも高い傾向にある。一方で少子高齢化という課題にも直面しており、伝承活動が難しくなっている地域もある。

地域の伝統文化や民俗芸能を子どもたちに伝承することは、大人と子どもの世代間交流を創り出し、地域コミュニティの活性化へとつながっていく。令和4年度も「ふるさと塾賛同団体」の取組みを推進することで、次世代の地域をつくる人材の育成を図っていく。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|---|---|--|
| <p>伝統芸能育成事業子ども伝承活動ふるさと塾</p> <p>◇H17年度開始 (文化環境部)、 H19年度より 教育庁に移管 H24年度事業統合</p> <p>〇〇千円 (県費)</p> <p>市町村総合交付金</p> <p>〇〇千円 (県費)</p> | <p>●目的 子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などの素晴らしい地域文化を教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進していく。</p> <p>●内容</p> <p>1 市町村総合交付金による「ふるさと塾」活動支援 ○対象 35市町村 ○主な活動 地域文化継承の基盤づくりを目的に市町村総合交付金を交付し、市町村が「ふるさと塾」活動をする。</p> <p>2 記録保存システム「ふるさと塾アーカイブス」の運用 ○主な活動 ふるさと塾活動賛同団体の伝承活動を記録・保存し次世代に伝えるとともに、インターネットによる公開によりふるさと塾の活性化を図る。(公益財団法人山形県生涯学習文化財団へ業務委託)</p> <p>3 指導者の育成を目的とした研修会・出前講座の開催 ○対象 ふるさと塾賛同団体、文化伝承活動に取り組む学校等 ○期日・場所 5月下旬～3月 各地 ○主な活動 出前講座・研修会(4地区毎に10か所程度の団体や学校で開催) ・地域文化の伝承に携わっている方々を対象とした研修会や文化伝承活動に取り組む学校や賛同団体等へ指導者を派遣する出前講座を開催し、地域の実情に応じた課題の解決、団体同士のネットワークの形成及び指導者の資質向上を図る。</p> <p>4 子どもたちの発表機会(やまがた伝統文化フェスタ・ふるさと芸能のつどい) ○対象 ふるさと塾賛同団体4団体他県内伝統文化親子教室実施団体等 ○期日・場所 11月 遊学館(予定) ○主な活動 山形県の各地域で大切に守り継がれてきた民俗芸能や伝統文化などを体験できる機会を創出し、山形県の伝統文化に対する県民の理解を深め、郷土への愛着・誇りの醸成、伝統文化継承のための人材の育成を図る。</p> | <p>市町村</p> <p>生涯教育・学習振興課</p> <p>教育事務所</p> <p>県民文化スポーツ部 文化振興・文化財活用課</p> |

4 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める

(1) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

本県では地域住民の参画を促しながら、社会全体で学校や子どもの教育を支えていく気運の醸成と体制の整備に成果を上げてきた。

しかし、少子高齢化による人口減少は深刻化しており、担い手不足等を要因に地域行事など大人と子ども、大人同士が交流する機会の継続が困難になっている地域や存続そのものが危ぶまれる地域、ライフスタイルの変化を要因に、人間関係が希薄化している地域など、地域のコミュニティの弱体化は依然として進んでおり、「地域の教育力」の低下が指摘されている。また、学校では、学校教育に対する期待や解決しなければならない課題が多様化・高度化し、学校のみでの対応は困難な状況となっている。

子どもたちの豊かな学びと健全な育成を支えていくためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、育てたい子ども像を学校と家庭・地域が共有し、地域社会全体で連携・協働して、子どもの学びを支えるための体制整備を進める取組みを支援していくことが必要である。また、少年期における体験活動や学びを支援する取組みを通して大人の学びや新たな絆づくりを進め、「地域の教育力」を高めることが大切である。

そこで、令和4年度も市町村における学校・家庭・地域の連携・協働体制の整備や活動実施に対する財政的な支援、地域学校協働活動推進員等をはじめとする関係者・指導者の研修会の実施等を行っていく。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|--|---|--|
| <p>学校・家庭・地域の連携協働推進事業</p> <p>◇H28年度開始 ◇H28年度事業統合</p> <p>〇〇千円 (国補助、県費)</p> | <p>●目的 学校・家庭・地域が連携協働する体制整備を進めることで、大人と子ども、地域と学校の学びの好循環を創り出し、学校を核とした地域づくり・人づくりを推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 学校・家庭・地域の連携・協働の推進 ○対象 県内教育に関わる有識者及び関係者 ○期日・場所 8月24日(水) 地域と学校との連携協働推進協議会 9月27日(火) 家庭教育支援推進協議会【変更有】 9月6日(火) 放課後子ども総合プラン推進協議会 ○主な活動 県の方針や推進施策の計画・検証・評価</p> <p>2 地域とともにある学校づくり研修会 ○対象 教員、市町村教育委員会職員、地域ボランティア関係者 ○期日・場所 各教育事務所の計画による ○主な活動 学校教育関係者を対象として、「社会に開かれた教育課程」や「学校を核とした地域づくり」「コミュニティ・スクール」など一連の教育施策と関連づけながら、地域学校協働本部の必要性やメリットへの理解を深める研修会を開催し、各市町村における本部の設置の拡充と機能の充実を図る。</p> <p>3 指導者の育成・学習機会の提供 ①地域学校協働活動推進員養成講座の開催(年3回) ○対象 地域学校協働活動推進員等、市町村教育委員会職員 ○期日・場所 第1期 県施策説明、講演、先行事例 6/24(金) 第2期 地域学校協働活動の公開(8月～11月) 各教育事務所の計画による 第3期 県施策説明、講演、先進事例 1/25(水) ○各回とも意見交換や交流機会を設ける ○第3期は「地域と学校の連携協働研修会」として、対象を幅広くにして実施 ②地域ボランティア等人材発掘 ○対象 退職予定教職員 ○期日・場所 ①1月～2月(各地区教職員退職説明会にて) ②各PTA研修会等</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> <p>教育事務所</p> <p>生涯教育・学習振興課 教育事務所</p> |

| | | |
|---|--|--|
| | <p>○主な活動 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）や協働活動支援員として主体的に活動できる人材を発掘するため、退職教員に加えて県PTA連合会との連携を検討する。</p> <p>4 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】</p> <p>○主な活動 ・地域学校協働本部 学校と地域のボランティアをつなぐ地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置 ・地域学校協働活動の実施 ・保護者への家庭教育を学び講座や親子を対象としたふれ合い活動</p> | 市町村 |
| <p>（地域学校協働活動の推進）</p> <p>◇H20～22 年度は国委託 10/10。現在は、補助事業</p> <p>◇H28 年度事業統合</p> | <p>●目的 地域住民の積極的なボランティア活動を通じて、学校と地域の一層の連携体制を構築する「地域学校協働活動」を推進し、子どもと住民とのかかわりの中で子どもたちの成長を支え、地域の教育力を高める。</p> <p>●内容</p> <p>1 地域と学校との連携協働推進協議会</p> <p>○期日・場所 8月24日（水）</p> <p>○主な活動 県内の各学校区における地域学校協働活動に関する諸問題について協議し、県及び各市町村間の連絡調整を図りながら、地域学校協働活動の効果的な展開を図る。</p> <p>2 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】</p> <p>○主な活動 ①運営委員会の設置 市町村全体における事業の企画・立案及び評価・成果の普及、ボランティアの研修など ②地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置 ③地域ボランティアによる地域学校協働活動の実施 ・学校の働き方改革を踏まえた活動 ・放課後等における学習支援や体験活動の実施 ④地域未来塾（地域住民による学習支援）の実施</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> <p>市町村</p> |
| <p>（新・放課後子ども総合プランの推進）</p> <p>（H19～放課後子ども教室推進事業・H27放課後子ども総合プラン推進事業）</p> <p>◇H28 年度事業統合</p> | <p>●目的 放課後や学校外活動における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、地域の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容</p> <p>1 放課後子ども総合プラン推進協議会</p> <p>○対象 放課後子ども教室コーディネーター、放課後児童支援員、有識者、社会教育行政関係者、子育て・福祉部局関係者等</p> <p>○期日・場所 9月6日（火）</p> <p>○主な活動 県内全域で子どもの健全育成を図り、市町村における「放課後子ども総合プラン」の取組みの促進のために、十分な意見聴取を行い、関係機関や福祉部局との協力体制を構築する。</p> <p>2 地域学校協働活動推進員養成講座の開催【再掲】</p> <p>○主な活動 各市町村が設置するコーディネーターの資質向上や相互の情報交換を図る。</p> <p>3 放課後子ども総合プラン指導者研修会の開催</p> <p>○対象 放課後子ども教室指導者、放課後児童支援員、社会教</p> | <p>生涯教育・学習振興課 子ども保育支援課</p> <p>生涯教育・学習振興課</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>育行政関係者等</p> <p>○期日・場所 5月～3月 各地区</p> <p>○主な活動 ①放課後子ども総合プラン指導者研修会（4地区毎に年2回以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「放課後子ども教室」及び「放課後児童クラブ」における指導者や教員等を対象に実施する。 <p>②スミセイ放課後子ども教室指導者研修会（R4は村山地区1回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と住友生命との包括連携協定により、「スミセイアフタースクールプロジェクト」を通じた、放課後子ども教室における子ども向けのプログラムと指導者向けの研修会を実施する。 <p>4 市町村補助事業の実施【国1/3 県1/3】</p> <p>○対象 34市町村（山形市除く）</p> <p>○主な活動 ①運営委員会・学区毎の協議会（一体型）の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新・放課後子ども総合プラン」にもとづく「市町村行動計画」の策定や事業の検証、評価等を幅広い分野の方々の参画を得て実施 <p>②地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の団体、ボランティア、放課後児童クラブ、保護者等を結ぶ核となる人材の配置 <p>③「放課後子ども教室」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもを対象に、地域住民等の参画や地域の特色を生かして実施する学習支援や体験活動の機会を提供 | <p>教育事務所 総合支庁</p> <p>生涯教育・学習振興課 教育事務所</p> <p>市町村</p> |
| <p>PTA指導者研修事業 （社会教育研修事業）</p> <p>◇S57年度開始</p> <p>〇〇千円 （県費）</p> | <p>●目的</p> <p>PTA指導者を対象とした領域的・体系的な研修を実施し、資質向上を図ると共に、地域と学校の連携・協働の体制づくりを推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 PTA指導者研修会</p> <p>○対象 小中高・特別支援各学校PTA指導者等</p> <p>○期日・場所 11月12日（土） 遊学館</p> <p>○主な活動 優良PTA県教委表彰 表彰式、事例発表、講演（子どもの生活リズム向上山形県フォーラムと同時開催）</p> <p>2 その他のPTA関係事業</p> <p>○対象 県内のPTA組織</p> <p>○主な活動 ①優良PTA表彰事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会表彰選考委員会（5月） ・優良PTA文部科学大臣表彰の推薦（6月） <p>②PTA研修資料作成</p> <p>「これからのPTA No.52」の編集及び発行</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> |

（2）青少年の地域力の育成・地域活動の促進

本県の青少年ボランティア活動については、各地の青少年ボランティアサークル活動が「山形方式」と呼ばれ地域の方々から親しまれてきた。こうした青少年の主体的なボランティア活動は、参加者自身の社会力向上につながるとともに、子どもたちの地域での活動の充実に資するなど、重要な教育資源である。青少年ボランティアサークル活動の活性化に向けて、ボランティア活動を開始するきっかけとなる体験機会や、ボランティアサークル会員の意欲向上につながる交流機会、ボランティア活動をコーディネートする人材養成のための研修機会の充実が必要である。

近年は中高生のボランティア活動への主体的な参加の機会の減少に加え、コロナ禍による交流の機会とセミナー体験の消滅による、仲間づくりの貴重な機会が喪失する場面や、セミナー参加によるボランティア活動のやりがいや自己有用感をもつ場、生徒の生きる力を育む場が不足する場面が多かった。

令和4年度は中央センターと地区センターが連携し、推進会議をはじめ、各センターでの事業を実施する

ことを通して、ボランティア活動に参加する中高生への学習や交流の機会の提供し、ボランティア活動に主体的に参加する児童生徒を増やし、地域課題の解決に積極的に関わる「地域をつくる人」の育成を目指す。

青年層の活動については、活動意欲にあふれる20歳代を中心とする団体が各地で地域活動を開始するなど、地域活動が活性化する兆しを感じられるが、なかなか活動の輪が広がらず活動の継続が難しいなどの課題が指摘されている。このため、地域活動に関心を持つ青少年を対象とする学習機会や、次の世代の活動者育成のための事業が必要とされている。

令和2年度より新規事業としてスタートした「次世代の地域づくり中核人材育成事業」では、青年層の予備軍である中高生が企画立案段階から複数回にわたって事業に参画することで青年層とのつながりを深めることを図っているが、令和3年度からは青年や中高生等に対して追跡調査を実施して事業成果を検証する。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|--|---|---------------------------|
| <p>地域青少年ボランティア活動推進事業 ◇H17年度開始 H22年度事業変更</p> <p>〇〇千円 (県費)</p> | <p>●目的 青少年に対し意図的、計画的に「ボランティア活動」などの多様な体験活動の機会を提供し、交流を通して、コミュニケーション能力や豊かな心の育成、望ましい人間形成を図るとともに、ボランティア活動に主体的に参加する児童生徒の数を増やし、地域課題の解決に積極的に関わる「地域をつくる人」の育成を目指す。</p> <p>●内容</p> <p>1 中央センター事業</p> <p>○主な活動 ①山形県地域青少年ボランティア推進会議の開催(年2回)</p> <p>②YYボランティアビューローの設置</p> <p>青少年の課題に関する調査研究、相談及び支援、研修のための便宜の供給及び指導助言を行う。具体的には年間を通じ、各種研修・交流会・イベント等の案内、各サークルの紹介や活動状況などの情報を広く発信する。また、青少年を対象にボランティア活動希望者と受入団体・機関をコーディネートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理運営 ・夏の体験ボランティア(リーフレット配布) ・出前講座(10回程度) ・ボランティア活動実態調査(全日制高校3年生) ・地域青少年ボランティアサークル活動調査(年1回) <p>2 地区センター事業</p> <p>○主な活動 ①地区地域青少年ボランティア推進会議の開催(年2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形方式の「YYボランティア」活動の活性化に向け、地区毎の課題を洗い出す。 ・各市町村ボランティア担当者との連携を密にし、担当者が抱える課題を把握し、情報提供・助言等を行う。 ・必要に応じて、サークル会員や担当者への支援、サークル同士の交流会・セミナー等の機会を提供する。 ・新規サークル立ち上げを検討する個人・団体に対して情報提供・助言等を行うとともに、立ち上げをコーディネートする。 | <p>県青年の家</p> <p>教育事務所</p> |

| | | |
|---|---|------------------------|
| <p>次世代の地域づくり 中核人材育成事業</p> <p>◇R2 年度新規</p> <p>〇〇千円 (国交付金、県費)</p> | <p>●目的 地域活動に興味関心の高い中高生や青年が、青年ファシリテーターの指導・助言の下、講義や体験、企画・運営等の実践を通じて、地域活動への理解を深め、地域づくりの次世代リーダーとしての資質を高める。</p> <p>●内容 1 次世代の地域づくり中核人材育成事業</p> <p>○対象 中高生</p> <p>○期日・場所 6月～2月、各教育事務所ほか</p> <p>○主な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①各地区にワーキンググループを設置し、ファシリテーターを各地区5名ずつ委嘱し、中高生の参画者を20名ずつ募集する。 ②4・5月に事務局会を開催（事業方針や進捗状況等を確認）する。 ③6～8月にオリエンテーション及び地域づくりに関する講義を実施する。 ④6～8月にファシリテーターの実践活動体験及び企画会議を実施する。 ⑤9～2月に参画者が企画した地域活動プログラムを実施する。 ⑥9～2月に成果発表・振り返りを実施する。 ⑦3月に事務局会を開催（成果と課題を検証、事業まとめ）する。 ⑧前年度のファシリテーターや参画者等に追跡調査を実施する。 ⑨県青年の家は、本事業に係る「記録集」を作成し、各市町村教育委員会及び関係各所に配布する。 <p>※事業2年目の令和3年度からは、前年度のファシリテーターや参画者等に対して追跡調査を実施し、地域づくりへの参画状況や、地域活動団体への加入状況等を把握し、事業の成果と課題を検証する。</p> | <p>教育事務所 県青年の家</p> |
|---|---|------------------------|

（3）地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

平成30年に第5次山形県生涯学習振興計画を策定し、学習機会の充実や推進体制・学習環境の整備のための施策を推進している。今後の社会状況を踏まえて地域活性化に取り組むには、すべてのライフステージで学習機会が提供され、他者と協働して地域課題の解決に向かう活動をするなど、より積極的な活動を推進する必要があり、そのための交流機会やネットワークづくりが必要である。

また、民間の社会教育関係団体等も社会教育の推進に大きな役割を果たしている。社会教育関係団体の自主的かつ主体的な運営を尊重しつつ、適切な指導・助言を行うとともに、当該団体が計画的に実施する社会教育に関する事業を支援することで、社会教育関係団体の活動の活性化を図る。

本県の社会教育施設には、図書館、博物館、青少年教育施設がある。それぞれの強みを活かして県民の多様なニーズに応える魅力ある施設となるよう、それぞれの特質を生かしながら、人、自然、文化、社会とかわる体験活動等が推進されるように努める。県生涯学習センターについては、生涯学習振興の拠点施設として、適切かつ効率的な管理運営を行い、その機能を維持するために必要な施設整備を行うとともに、公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、県民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、地域の活性化を担う人材の育成及び県民の文化の振興を図る。

県及び市町村教育委員会における社会教育の推進を図るため、社会教育の専門的職員である社会教育主事有資格者（社会教育士）を計画的に養成するとともに、社会教育主事有資格教員を地域や学校、家庭の連携・協働を推進する体制づくりの核と位置付け、地域の教育力向上を図る。

社会教育施設が地域住民の社会教育（交流・生涯学習・家庭教育）の拠点となる環境づくりを行えるよう

に、また、社会教育関係担当職員がよりよい生涯学習の場を提供できるように、研修・学習機会を提供するとともに、事業や企画作りに資する資料とするために、成人期・高齢期の学習の調査（市町村における社会教育事業等の実施状況調査）結果をまとめ考察を行い周知する。

| 事業名等 | 事業の目的・内容 | 実施主体 |
|---|--|--|
| <p>成人期・高齢期教育担当者研修事業</p> <p>（学びと協働による地域コミュニティ活性化事業）</p> <p>（助成） 県社会教育連絡協議会</p> | <p>●目的 成人期・高齢期における社会教育の現状を調査し、豊かで活力ある地域社会を形成するため、よりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう検討していく。</p> <p>●内容</p> <p>1 成人期・高齢期の学習の調査 （市町村における社会教育事業等の実施状況調査） ○対象 市町村公民館等施設 ○期日 9月予定 ○主な活動 市町村が開催している、成人・高齢者を対象とした講座等の開催場所や内容等を調査する。</p> <p>2 指導者研修会の開催 ○対象 市町村行政職員・社会教育主事 ○期日・場所 2月10日（金）県庁講堂（予定） ○主な活動 成人期・高齢期における学習活動の今後の在り方について学ぶための研修会を開催する。（成人期・高齢期教育研修会）</p> <p>3 社会教育関係職員研修等 (1)社会教育関係職員初任者講座 ○対象 市町村社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等のうち、経験年数が2年未満の者 ○期日・場所 1回実施予定 ○主な活動 講義、ワークショップ、職種別分科会をとおして、社会教育を推進するために必要な基礎・基本を学ぶ。（予定） (2)社会教育関係職員地域づくり研修会 ○対象 社会教育関係職員、NPO、地域づくり団体等 ○期日・場所 未定 ○主な活動 個人の要望や社会の要請にこたえる社会教育事業の企画力を高める研修会を開催する。</p> <p>4 市町村研修等支援事業 ○対象 各市町村の社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等 ○期日・場所 各市町村の計画による ○主な活動 各市町村の計画による</p> <p>5 学校・家庭・地域の連携協働推進事業【再掲】 地域ボランティア等人材発掘</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> <p>生涯教育・学習振興課</p> <p>県生涯学習文化財団 （生涯教育・学習振興課共催）</p> <p>県社会教育連絡協議会 生涯教育・学習振興課</p> <p>生涯教育・学習振興課</p> |

| | | |
|---|---|-------------------|
| <p>社会教育関係団体の支援 (社会教育関係団体事業費補助金)</p> <p>◇S34 年度開始</p> <p>〇〇千円 (県費)</p> | <p>●目的 社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図る。</p> <p>●内容 事業費補助金の交付 ○補助金名、対象団体 ①山形県社会教育連絡協議会事業費補助金 ・山形県社会教育連絡協議会</p> <p>②PTA連合会事業費補助金 ・山形県PTA連合会 ・山形県特別支援学校PTA連合会</p> <p>③婦人団体事業費補助金 ・山形県婦人連盟</p> <p>④ボーイスカウト事業費補助金 ・ボーイスカウト山形県連盟</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> |
| <p>県立図書館の整備・充実</p> <p>〇〇千円 (国交付金、県費)</p> | <p>●目的 県民の高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応するため、県民の学習活動の基幹施設である県立図書館の基本的機能が発揮できるよう、図書館資料の収集・整備・保存に努める。</p> <p>●内容 1 図書資料整備充実事業 ・一般図書、専門雑誌、地域資料、視聴覚資料等の充実</p> | <p>県立図書館</p> |
| <p>県民が集い・学ぶ県立図書館活動整備</p> <p>◇H27 年度開始</p> <p>〇〇千円 (国交付金、県費)</p> | <p>●目的 リニューアルオープンした県立図書館において、県民の「知の拠点」であるとともに多様な年代の方々が集う「交流の拠点」として、一層の利用促進及び満足度向上を図り、県民が集い・学ぶ図書館を目指す。</p> <p>●内容 1 賑わい創出及び利用者サービス向上の取組み</p> | <p>県立図書館</p> |
| <p>県立博物館の整備・充実</p> <p>〇〇千円 (県費)</p> | <p>●目的 文化学術拠点としての博物館機能の強化を図り、地域への愛着や誇りを育むため、魅力ある博物館活動を展開する。</p> <p>●内容 1 プライム企画展の開催 2 学習会・研修会等の実施 3 解説ボランティアの配置・活動</p> | <p>県立博物館</p> |

| | | |
|--|---|--|
| <p>県青少年教育施設の整備・充実</p> <p>〇〇千円 (県債、県費)</p> | <p>●目的 青少年教育施設の安全性を高め、利用者が安全・安心に活動できる充実した学習の場の提供を行う。</p> <p>●内容 1 飯豊少年自然の家 洋式トイレ設置工事 2 金峰少年自然の家 敷地内毒蛾対策</p> | <p>県青少年教育施設</p> |
| <p>県社会教育委員の会議 生涯学習検討委員会</p> <p>665千円 (県費)</p> | <p>《社会教育委員の会議》</p> <p>●目的 行政と県民のパイプ役・橋渡し役として、教育委員会への意見具申や助言指導などを行い、本県社会教育の充実に資する。</p> <p>●内容 山形県社会教育委員の会議開催 ○対象 県社会教育委員 15名 ○期日・場所 ①第193回山形県社会教育委員の会議 6月〇日(〇) ②第194回山形県社会教育委員の会議 9月〇日(〇) ③第195回山形県社会教育委員の会議 2月〇日(〇) (令和4年度「生涯学習検討委員会」を兼ねる。)</p> <p>《生涯学習検討委員会》</p> <p>●目的 県の生涯学習推進体制の整備に向けて、生涯学習関連部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう設置した「生涯学習推進委員会」とともに、外部有識者が「山形県生涯学習振興計画」の進捗状況を点検し必要な提言を行う。</p> <p>●内容 山形県生涯学習検討委員会の開催 ○対象 県社会教育委員 15名 ○期日・場所 生涯学習検討委員会の会議 2月〇日(〇) (令和4年度「第195回山形県社会教育委員」を兼ねる。)</p> | <p>生涯教育・学習振興課</p> |
| <p>社会教育主事養成事業</p> <p>◇S56年度開始 (有資格教員研修はH26年度開始)</p> <p>〇〇千円 (県費)</p> | <p>●目的 社会教育主事養成のため、東北大学及び国立教育政策研究所社会教育主事講習等への派遣により、社会教育推進体制の充実と、幅広い知識を身につけた教員の養成を図る。 また、学校への社会教育主事有資格者(社会教育士)の配置と、社会教育主事有資格教員のスキルアップを図り、学校・家庭・地域の連携を促進する。</p> <p>●内容 1 社会教育主事講習(R2より社会教育士が付与される) ○対象 県教育庁社会教育関係職員 公立小・中学校、県立高校・特別支援学校の教員 ○期日・場所 ①東北大学社会教育主事講習(対面及びオンライン) 〇月〇日(〇)～〇月〇日(〇) ②国社研[A] 7月〇日(〇)～8月〇日(〇) ・社会教育実践研究センター他 ③国社研[B] 1月〇日(〇)～2月〇日(〇) ・社会教育実践研究センター他 ○主な活動 社会教育法第9条の5の規定に基づき東北大学等が実</p> | <p>文部科学省 (東北大学) (国立教育政策研究所) 生涯教育・学習振興課</p> |

| | | |
|---|--|------------|
| | <p style="text-align: center;">施する社会教育主事講習への派遣</p> <p>2 社会教育主事有資格教員研修 ○対 象 公立小中学校の社会教育主事有資格教員 ○期日・場所 教育事務所毎に実施 ○主な活動 最新の社会教育事情や学社連携のあり方を学ぶ。 パネルディスカッション、グループ討議等</p> | 教育事務所 |
| 生涯学習施設の管理 運営 ◇H2 年度開始 〇〇千円 (県費) | ●目 的 生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（遊学館、霞城セントラル10階）、センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）について、効果的かつ効率的な管理運営を行う。 ●内 容 1 県生涯学習センター管理運営費 ・施設維持管理及び使用許可等業務に係る指定管理料（指定管理者制度導入 H18 年度～） ・指定管理者：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 ・指定の期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日 | 生涯教育・学習振興課 |
| 生涯学習施設の整備・充実 〇〇千円 (県費) | ●目 的 生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（遊学館、霞城セントラル10階）、センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の機能維持及び安全確保のため、設備等の整備、更新及び修繕等を行う。 ●内 容 洗心庵東側・西側擁壁補強改修工事 等 | 生涯教育・学習振興課 |
| 生涯学習振興に係る連絡調整 （生涯学習推進委員会） ◇H25 年度開始 | 《生涯学習推進委員会》 ●目 的 県の生涯学習推進体制を整備し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整を行い、その推進を図る。 ●内 容 ○対 象 関係各課 ○期日・場所 書面での開催 ○主な活動 生涯学習推進委員会を設置し、関係部局や山形県生涯学習センターが連携し、総合的に施策が展開されるよう努める。 | 生涯教育・学習振興課 |